

## 質問回答

2024年2月2日

インド国ムンバイメトロ11号線建設事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS - ランプサム型)  
(公示日:2024年1月17日/公示番号 23a00868)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 60 頁 第5条 成果品 本業務で作成・提出する報告書等及び数量	<p>ファイナル・レポートの提出が2025年2月頃なのに対して、ドラフト・ファイナル・レポートの提出が2024年7月下旬と非常にタイトになっていますが、その記載内容について具体的に何を想定されているかご教示ください。DFRまでに特に優先すべき作業項目がありましたらご教示ください。</p> <p>また、これを踏まえた環境社会配慮助言委員会WG(スコーピング、DFR)の想定開催時期をご教示ください。</p> <p>- 上記委員会の実施は非常にタイトなスケジュールが想定されておりますが、WGの開催時期の後ろ倒しは可能でしょうか。</p> <p>- 環境調査には雨季・乾季の2季調査の実施が記載されておりますが、ムンバイの雨季は7月がピークであり、その場合DFRへの記載</p>	<p>➤ 企画競争説明書(第2章第5条)でお示ししているとおりに、本説明書において確認・検討を求めている全ての項目について、調査の結果を網羅いただくことを想定しておりますが、現時点では環境社会配慮にかかる必要な手続きのスケジュールに鑑み、ドラフト・ファイナル・レポートの提出時期を定めていません。</p> <p>➤ 環境社会配慮助言委員会のスケジュールについては、本調査の進捗状況を踏まえながら、インセプション・レポート及びドラフト・ファイナル・レポートの提出時期に沿った開催を想定しております。各委員との調整も踏まえ、今後具体的に検討を進める考えですが、現時点では成果品の提出期限の後ろ倒しは想定しておりません。</p>

		が間に合わないと思いますが、どのように対処すれば宜しいでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 企画競争説明書（第2章第5条）において、ドラフト・ファイナル・レポートの提出期限を7月下旬に設定しております。ムンバイでは通常、毎年6月頃から雨季に入るため、7月下旬までの間に、本説明書に記載した項目について必要な確認を行っていただきたいと考えておりますが、本調査を通じ具体的な調整が必要となった場合には個別に検討いたします。</li> </ul>
2	企画競争説明書 42 頁 第4条 業務の内容 (11) 概略設計 5) 土地施設計画（地下トンネル・駅・軌道構造）	項目名の見出し「5) 土地施設計画（地下トンネル・駅・軌道構造）」は、「5) 土木・建築施設計画（地下トンネル・駅・軌道構造）」の間違いではないでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ご認識のとおり、当該項目は「5) 土木・建築施設計画（地下トンネル・駅・軌道構造）」と捉えていただき差し支えございません。</li> </ul>
1月26日 回答済み			
3	企画競争説明書 p.15 第3条(5) 関連調査等から得られる情報のレビュー及び活用	「企画競争説明書の第3条(5)において、「本業務は DPR、EIA 報告書及び SIA 報告書等の既存資料等を踏まえた上での調査となるが、あくまで実施機関等が行った既存調査とは独立して行うこととする。」と記載がある一方で、「先行調査・既存事業から得られる情報を最大限に活用し、重複がないよう効率的な	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 本調査のスケジュールは、環境社会配慮助言委員会に対する付議を含め、環境社会配慮にかかる必要な手続きを考慮し設定しております。現在作成中の DPR 等 (④⑤⑥) は、現時点においては、2月下旬から3月上旬を目途に共有される見込みです。</li> <li>➤ 環境社会配慮助言委員会の具体的な日程に</li> </ul>

		<p>業務を行うこと」とあります。上記を踏襲するのであれば、同条同項目に記載のある④⑤⑥の報告書を先方より受領した後、重複を避けた調査 TOR を作成すべきであるものの、貴機構が設定される業務スケジュール、特に DFR の提出期限はそれを逸脱したものになっております。</p> <p>特に環境調査を 5 月(乾季)と 6 月(雨季)で実施するためには、業務開始直後の 4 月中旬までに再委託契約を結ぶ必要がありますが、更新版 EIA/SIA レポート (5-6 月受領予定) が未入手の状態では作成が不可能です。また 7 月末までに、2 度の助言委員会 WG 用の資料作成準備にも追われることから、パトナメトロ準備調査以上の工程管理が求められることとなります。上記の状況下において、それでも貴機構が提示している実施スケジュールで何故実施可能なのかという、詳細スケジュール (④⑤⑥資料の受領時期、それら資料の受領時期を踏まえた調査時期、WG の開催時期等) の提示と実施可能という判断を下されたその根拠を提示して頂けませんか。</p>	<p>については、今後具体的に検討を進める考えですが、上記の点を踏まえ、現時点では成果品の提出期限の後ろ倒しは想定しておりません。企画競争説明書に記載しているインセプション・レポート及びドラフト・ファイナル・レポートの提出時期に沿った開催を想定しております</p> <p>➤ なお、現在作成中の DPR 等の作成状況等に応じて、本調査スケジュールの具体的な調整が必要となった場合には、個別に検討を行う考えです。</p>
4	企画競争説明書 p.56 第 4 条 (30)	貴機構の企画競争説明書の p56 等におきま	➤ 企画競争説明書 (第 3 章 4.(2)および(3)) にあ

	<p>線形の検討 1) 交通需要予測・交通機関別需要分担予測</p>	<p>しては交通需要予測に関する交通量調査の再委託は認めて頂いておりますが、DPRでの需要予測実施者等に対する需要予測作業関連の再委託を認めて頂くことは可能でしょうか。DPRで実施した需要予測手法・結果との整合性を図ることや、限られた作業時間内の作業時間の短縮の面でも再委託を行うことが望ましいと考えております。</p>	<p>るように、別提案につきましては、プロポーザルに記載せず、別見積とともに別途のご提出をお願いいたします。ご提案や見積の内容につきましては、契約交渉時に協議させていただきます。</p>
--	------------------------------------	--	---